

平

屋

建



定山溪学園 新築工事

造



01



事業の概要

定山溪学園の工事は、老朽化した定山溪小学校を定山溪中学校の敷地に移転し、義務教育学校(小・中学校一貫校)として新しい校舎を整備することを目的としています。新校舎は、学校建築ではめずらしい木造平屋建てのため、環境に配慮した温かみのあるデザインが特徴です。(一部鉄筋コンクリート造含む)

建築工事課のお仕事

基本設計・実施設計

新築工事では、複数の設計会社からの業務提案書をもとに設計会社を選定します。設計中は設計会社と密に連携し、設計の各段階での進捗確認、学校からの要望などの調整や図面等の確認・承認を行い、品質、工期、コストが適切なものとなるよう対応します。

新築工事・解体工事

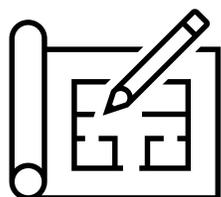
新築工事・解体工事では、担当職員が設計会社(監理者)や工事業者と協力し、進捗、品質、安全、予算、スケジュールを管理します。問題が発生した場合は、迅速に対応します。



step

01

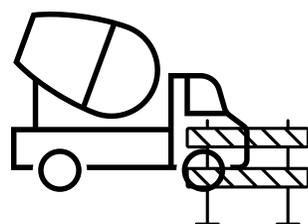
基本・実施設計



step

02

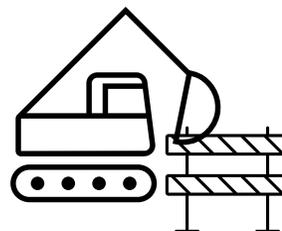
校舎新築ほか工事



step

03

旧校舎解体工事

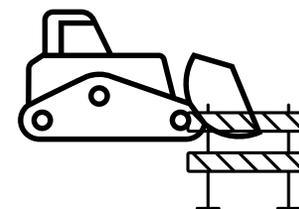


step

04

グラウンド整備工事

※建設局土木部発注



02



新校舎の概要

所在地 南区定山溪温泉西1丁目30番地

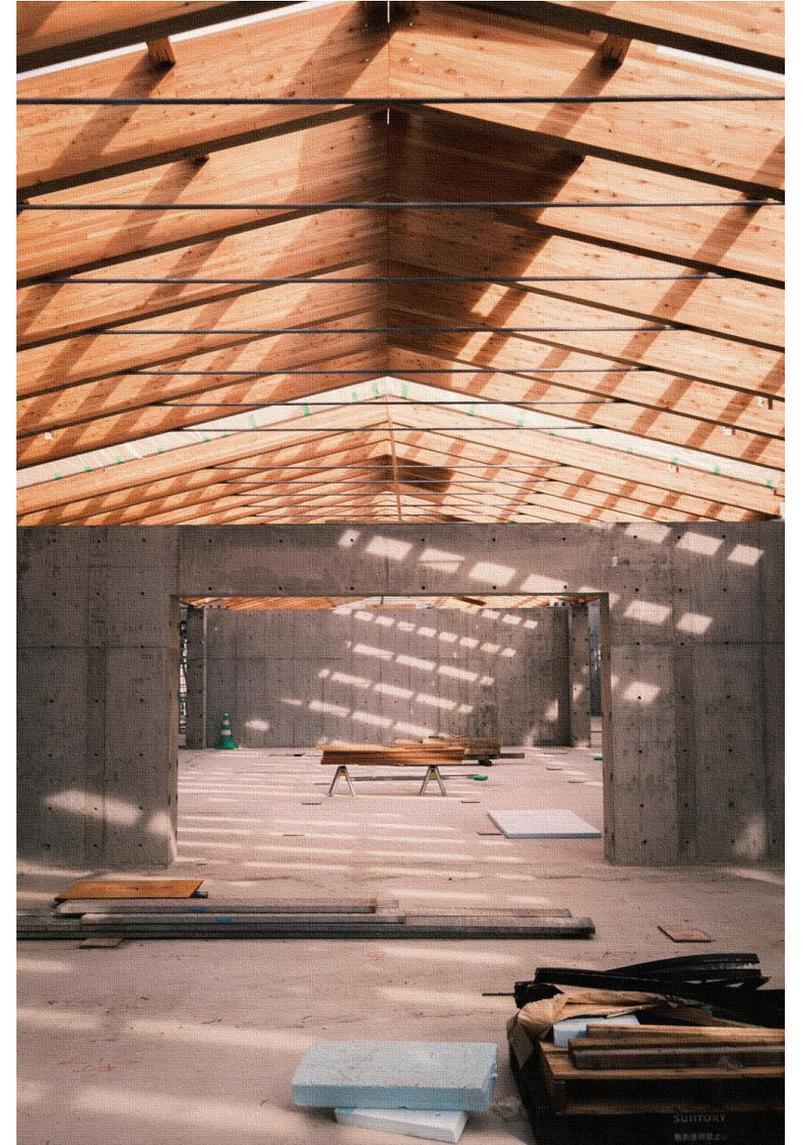
工事業者(建築) 岩倉・山崎特定共同企業体

設計会社(監理) 株式会社アトリエブंक

工事期間 令和5年10月～令和7年2月

延べ面積 約4,460㎡

用途 ①校舎 ②児童会館 ③郷土博物館





樹木伐採・伐根 先行解体



冬季休業



基礎工事



木軸工事



内外装工事



完成！

03



校舎新築工事の工程

04

新校舎外部イメージパース



色名:生チョコ

色名:パチカ

色名:銀鱗

建築工事課のお仕事

札幌市の景観を守るため、新しい校舎の外観色は札幌市が定める景観70色から選ばれます。学校の色彩計画では、地域の景観にふさわしい外観色の候補を考え、教育委員会の職員とともに検討を行います。また、景観70色の選定を行う他の部署とも協議し、最終的な外観色を決定します。

05



新校舎内部イメージパース



校舎の内観は北と南に普通教室を配置し、ワークスペース(WS)を挟んで中央に多目的室・図書室があります。ワークスペースにはハイサイドライト(高窓)を設け、自然光を取り入れる計画としています。
※ワークスペース(WS)…個別学習やグループワークなど多様な学習形態に対応するために設計された、幅約4~5mの廊下兼多目的スペースです。



WSから南側の普通教室を見る



普通教室



図書室



北側WSから見た多目的室



06



新校舎のこだわりポイント

point
01 定山溪地域の美しさを
引立てるデザイン

校舎は平屋建てにすることで、
周囲への圧迫感を抑え、北側の
山の眺望を確保しています。
また、外装には自然と調和する
赤褐色や焦げ茶色を採用し、周
囲の自然環境と一体感を持たせ
ています。

point
02 ゆとりと変化のある空間構成

ワークスペース上部のハイサイド
ライトから自然光を取り入れて開
放的な空間を演出しています。
校舎の内観は、南北の普通教室と
中央の図書室・多目的室に開放性
の高い建具を使用し、一体的な空
間としての利用が可能となっ
ています。

point
03 木の温もりが感じられる空間

札幌市産の木材や北海道産の木
材をふんだんに使用しています。
例えば、校舎と郷土博物館の柱に
は、札幌市の白旗山で採れたカラ
マツを使用し、子どもたちが木の
温もりを身近に感じられる建物
となっています。

06

新校舎のこだわりポイント

レベル確認



鉄筋圧接



建築工事課のお仕事

工事期間中、担当職員は工業者、監理者（設計会社）、学校と週1回の定例会議を行います。定例会議では、学校行事と工事のスケジュール調整や、学校から内装の素材や建具の色などの要望を聞き取り、工業者と監理者からの専門的な助言を受けながら、要望をかなえるためのサポートを行います。また、会議終了後には工事現場の進捗状況を確認するための現場視察を行い、工事が順調に進んでいるかや工業者の施工管理（品質・安全）が適切であるかを確認します。

07 工事 中 の 様 子

コンクリート打設



シーリング



天井グラスウール吹付



フローリング張り





08



施工者インタビュー

Q1

定山溪学園の新築工事の現場代理人に任命されたときのお気持ちを教えてください。

A1

木造の大型建築物は自分にとって初めて取り組む事業でした、竣工を迎えたいま改めて建物を見るととても感慨深いものがありました。

Q2

工事での苦労した点を教えてください

A2

雪です、なんといっても豪雪地域の定山溪ですから雪との付き合いは大変でした。

Q3

工事で工夫した点を教えてください。

A3

監理者や学校からの要望に応えられるよう、当社の技術担当や協力業者との連携をとって工事を進めました。3D.CADの製作を依頼し打合せ時に活用したり、協力会社には木造建築物のアドバイスをいただき、建物に反映しました。協力していただいたすべての方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。

Q4

工事のやりがいを教えてください。

A4

旧校舎と並列しての事業なので、日々顔を合わせる教職員の方々に激励されながらの現場でやりがいがありました。

Q5

学校、工事主任、監理者(設計者)とどのように関わって工事を進めていたか教えてください。

A5

定山溪という現場のため、日々電話やリモートなので工事主任や監理者からの指示を受けられるよう環境を整え、工事を進めました。

Q6

定山溪学園の子供たちへひと言お願いします。

A6

木造の温かみのある学校で勉学に励んでください。

回答:岩倉・山崎共同企業体 現場代理人

08

施工者インタビュー



09 現場見学会の様子

現場見学会は、工事の進捗状況や施工方法などを工事課職員や別部署の建築職などに知ってもらうためのイベントとして開催します。

現場見学会では、工事の担当職員や工事業者から施工方法や使用材料などについて説明が行われます。建設途中の現場を見学する際には、安全対策として、安全靴やヘルメットなどの保護具を必ず着用します。





ワークスペース



普通教室

10 新校舎完成 一校舎

白旗山のカラマツや簾舞産カバなど、市産木材・道産木材をふんだんに使用し、木の温もりを感じる校舎になりました。
ハイサイドライト下のワークスペースは自然光が差し込む開放的なつくりで、普通教室と一体的に使うことができます。



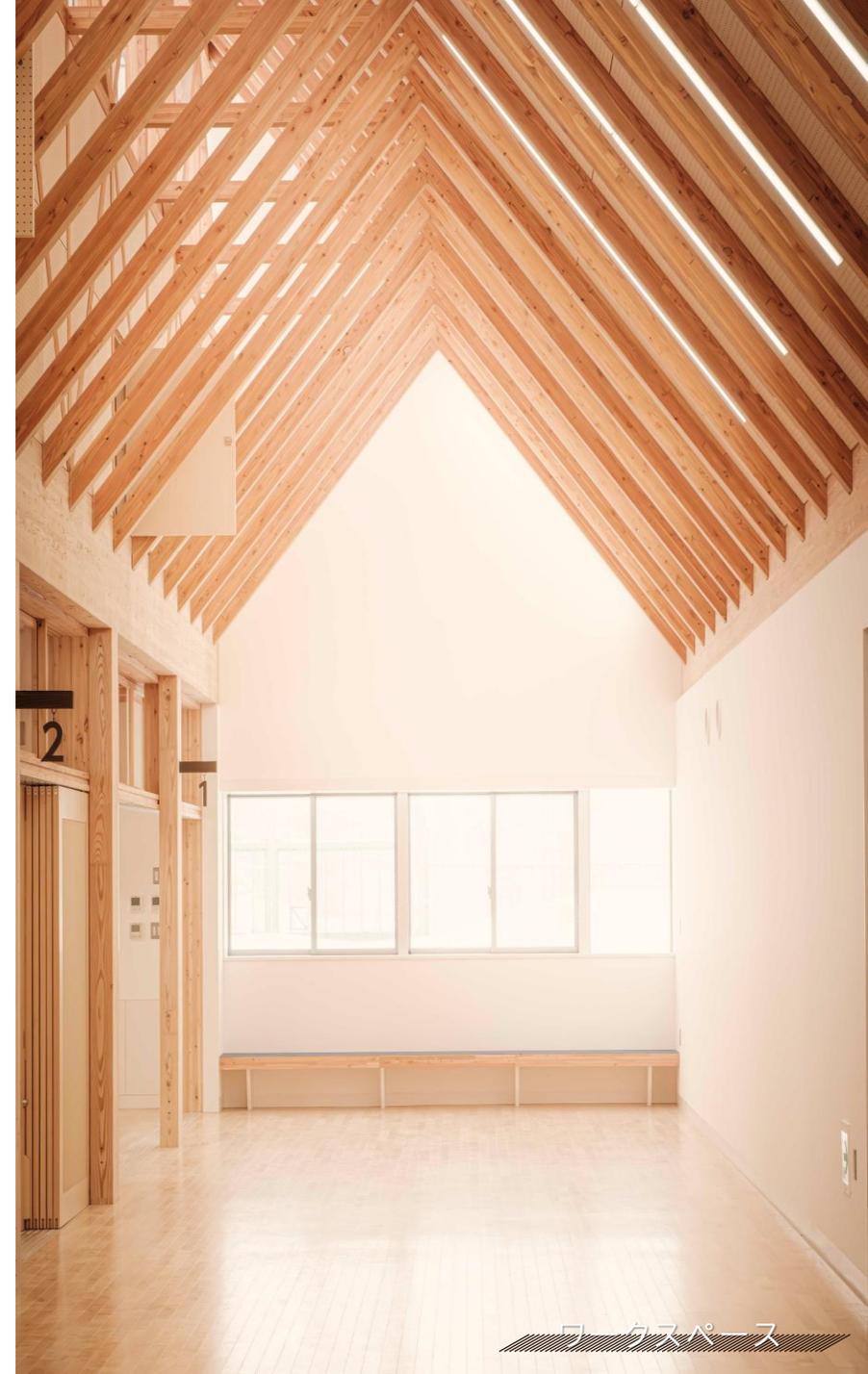
水呑場



昇降口



教室サイン



ワークスペース



集会スペース



遊戯室



廊下

10 新校舎完成 — 児童会館 —

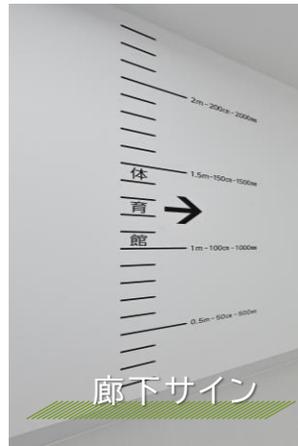
児童アンケートをもとに床の色を決定し、自分たちで選んだ空間に愛着を持てるようにしました。廊下には、定山溪の自然を感じられるよう動物の足跡をデザインし、歩くだけで楽しくなる工夫をしました。集会スペースには、収納棚として使えるだけでなく、子どもたちがくぐって遊べる仕掛けになっています。



玄関



集会スペース



廊下サイン